

令和6年度 黒沢尻保育園 保育士の自己評価について

はじめに

平成20年3月に告示された保育所保育指針において保育士等及び保育所に自己評価並びにその公表が努力義務として位置付けられました。本園では、保育士の自己評価を厚生労働省のガイドラインに基づいて自己評価を行っております。

保育士が自己評価することで

- ☆保育士が自らの保育を自己点検・評価する（見直す）ことによって、保育内容の質の向上に努めることができる。
- ☆保育観や保育に対する考え方・方針を共有化することができる。
- ☆多様なニーズに対応したきめ細やかな保育サービスの提供の在り方等について検討課題を得ることができる。
- ☆保育園の保育内容を開示することによって、社会に保育所保育及び保育所の存在理由を理解してもらうことができる。

以上の効果が期待されます。

1. 実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月

2. 評価基準

- イ. よく出来ている
- ロ. ほぼ出来ている
- ハ. 努力が必要

3. 評価内容と結果

(実施した保育士26名)

評価項目及び評価内容	イ (%)	ロ (%)	ハ (%)	評価（改善策）
1、保育の理念・保育観	32	54	14	・一人ひとりの人権を尊重することを理解することを忘れることなく保育を行っていきたい。

2、保育の内容 (1) 保育計画・指導計画	27	53	20	・次の保育に繋げていくように反省、計画を綿密に行うことを大切にしていきたい。
(2) 乳児保育	36	58	6	・家庭、保育園、保健師、給食担当者と連絡を行い一人ひとりが安心して丁寧な保育を心掛けてきた。
(3) 3歳未満児保育（1・2歳児保育）	30	58	12	・一人ひとりの成長を見守り、保育士との信頼関係の中で保育を行うことができた。
(4) 3歳以上児保育。 ◎健康 ◎人間関係 ◎環境 ◎言葉 ◎表現	26	57	17	・子どもたちが生活や遊びを通して健やかに成長していけるよう子どもたちの気持ちを大切に保育に取り組んできた。
(5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども（障がい児）の保育	22	57	21	・専門機関と連携を取り、職員間で共通理解ができるように話し合いの場を作っていく大切さを感じる。
(6) 行事	31	55	14	・子どもたちに楽しく元気に参加できるように、また新しい経験をして成長できる場になるよう努めてきた。
(7) 延長保育	25	53	22	・人数が少なくなる時間帯には寂しくないようにあそびを工夫しながら保育を行った。
3、保健活動・安全管理	28	54	18	・保健師による保健日より配信、感染症の兆しがある時は早めに保護者への連絡を取りながら安全に生活できるよう配慮を行った。

4、保護者・地域社会・関係機関との連携	3 3	4 2	2 5	・行事には地域の老人クラブを招待、小学校の連携を図るなど今年度もしっかりと行うことができた。
5、地域の子育て支援	2 9	5 4	1 7	・未就園児を対象に子育て相談会の開催、子育て情報誌も職員間で作り好評を得てきている。
6、保育園の勤務・役割分担	2 6	5 8	1 6	・自分の職務や役割を理解、また職員間でも協力していくことの確認をしながら行ってきた。
7、保育士としての資質向上 (研修・研究活動)	3 1	5 5	1 4	・園内研修、法人内でのグループ研修等を行い保育の向上に向けて行ってきた。オンライン研修もできるだけ職員が参加できるように努めてきた。

・子どもたちは楽しく保育園で遊び経験ができるように、保護者の皆様が安心してお子様を預けていただけるように、職員一人ひとりが保育を振り返り評価、反省することを忘れずに、また保護者の皆様の声をしっかりと聞き、保育の質を高める努力をしてまいりたいと思います。